

保健室だより



平成30年5月16日
市原緑高等学校 保健室

今年度が始まって1ヶ月が経ちました。新しい環境による疲れも出てくる頃である上に、今年は例年以上に日によって気温差が激しいです。体調を崩してはいませんか？来週には1学期の中間考査がありますので、規則正しい生活・早めの対処で考査に向けて体調面でも十分な準備をしましょう！



世間を賑わせている 麻しん（はしか）とは…？

ゴールデンウィーク中から度々 ニュースや新聞で話題になっていますが、みなさんはどんな感染症か知っていますか？

麻しん（はしか）の症状って…？

- 発熱・咳・鼻水などの風邪のような症状。

この時期1番
感染力が強い

- 咳が強まる
- 結膜(下まぶたの裏の部分)が充血し、目やにが出る

- 口の中 頬の裏に白い斑点が現れ、翌日頃から全身に小さな発疹



麻しん（はしか）のここが怖い！

- 感染力が非常に強い。
→その感染力、実にインフルエンザの5倍。
- 重い合併症を起こしやすい
→中耳炎、肺炎、脳炎(死に至る可能性も)など
- 免疫力のない、幼児などは非常に危険！
→昔は子どもの「命定め」の病気とされていました
- 妊娠している方への影響
→早産や流産を起こしやすくなる。重症化しやすい(妊娠していない人に比べて6倍)



感染しないためには？

ワクチン接種が最大の予防法！

予防接種を済ませている人へ

予防接種を済ませていれば、「100%絶対安心」とも言い切れません。日頃から免疫力を下げない生活を心がけ、体調不良の際は「風邪だ」と思って油断せず、ひどくなる前に医師の診察を受けましょう。

★緑高のみなさんは、ほとんどの人が小さい頃にワクチンを2回済ませています。

(保健調査票より)



ワクチン接種が済んでいない人へ

今回を機に、済ませておくこと良いでしょう。※医療機関によると、ワクチンの供給がやや品薄のようです。ワクチン接種希望の際は、あらかじめ病院に問い合わせることをおすすめします。



自分がワクチン接種をしているか、よくわからない/抗体があるか不安な人へ

抗体検査をして、自分が麻しんに対する免疫があるのか調べるのと同じです。



★麻しんなどの予防接種で防ぐことのできる感染症・予防接種の知識を知っていると…

今、みなさんがそれら感染症にかからないように備えられます。みなさんが感染しないことで周りの人の感染を防ぐことができるかもしれません。そして将来、自分の家庭を持った際にも役に立ちます。

